平成10年11月20日発行　毎月１回発行

財団法人 ベターリビング

better living NEWS

10月は住宅月間

平成10年11月号 vol.068

目次

●環境審査登録の手引き
●ＢＬ部品マーキングシステムの運用状況報告
●第10回住宅月間中央イベント報告　「'98スーパーハウジングフェアin兵庫」および「住まい復興の集い」
●ＨＡＲＵＭＩドーム21『晴海・住まいの構造と設備の展示場』　ベターリビングコーナーの開設
●『'98建築総合展NAGOYA』に出展
●住宅部品ＰＬセンター　斡旋不成立事案等の推移
●住宅部品ＰＬセンター　第2回室内環境問題相談会議開催
●センチュリーハウジングシステム住宅認定のご報告
●筑波建築試験センター活動報告　PC(プレキャストコンクリート)部材製造工場の品質審査について
●人事異動
●ＢＬ部品の仕様等の変更一覧
●10月の動き
●付録：危害情報受付概要

環境審査登録の手引き

最近ＢＬ誌講読企業の中にも環境マネージメントシステムの受審希望が急増しています。システム審査登録センターへの問い合せも多いのでここで環境審査（ISO14001）登録のフローチャートを簡単に示します。（詳しいお問い合せは当センターへ）

問い合せ先：当財団　システム審査登録センター　03-5211-0609

事前相談
制度のしくみ、申請の仕方などについて説明します。

▼

申請受付・契約
申請書など必要書類を受理した後、基本的には環境マニュアルを提出していただきます。
上記内容を確認の上、契約手続きを行います。

▼

書類審査・予備審査
環境マニュアルなどがISO 14001に適合しているかどうかを審査します。ご要望に応じて予備審査を行います。

▼

審査計画の通知
書類審査合格後、本審査のための審査チームが編成され具体的な審査計画が作成されます。

▼

本審査
環境マネジメントシステムの実施状況をISO 14001に基づいて実地に審査します。

▼

審査報告・判定
本審査の結果が報告され「登録判定委員会」で適否が判定されます。

▼

登　録
登録されると「登録証」が発行されます。

▼

定期審査
登録企業の環境マネジメントシステムの維持状況を定期的に審査します（３年間）。

ＢＬ部品マーキングシステムの運用状況報告

下記企業のＢＬ部品に係わるマーキングの使用申請が受理されましたので報告いたします。

問い合せ先：当財団　情報業務部情報サービス課　03-5211-0571

マーキング使用一覧　　[全体受理社数/件数：50社/73件　平成10年10月9日現在]

品目（分類）	企業名	マーキングの種類
玄関ドア（各種別共通）	三和シャッター工業株式会社	長寿社会対応　環境共生対応
	ＹＫＫアーキテクチュラルプロダクツ株式会社	長寿社会対応　環境共生対応
	近畿車輌株式会社	長寿社会対応　環境共生対応
ＲＣ造住宅用サッシ（アルミサッシＢ型）	ＹＫＫアーキテクチュラルプロダクツ株式会社	長寿社会対応
ＲＣ造住宅用サッシ（アルミサッシＣ型）	ＹＫＫアーキテクチュラルプロダクツ株式会社	長寿社会対応
ＲＣ造住宅用サッシ（断熱型サッシ）	ＹＫＫアーキテクチュラルプロダクツ株式会社	環境共生対応
手すりユニット（補助手すり）	ＹＫＫアーキテクチュラルプロダクツ株式会社	長寿社会対応
	山崎産商株式会社	長寿社会対応
キッチンシステム（キッチンキャビネット）	株式会社ヤジマ	標準化対応
浴室ユニット	積水化学工業株式会社	長寿社会対応

第10回住宅月間中央イベント報告

「９８スーパーハウジングフェアin兵庫」および「住まい復興の集い」

「住宅月間」主要イベントの一つである住宅月間中央イベント「`98スーパーハウジングフェアin兵庫」が兵庫県並びに神戸市の協力を得、10月１日より４日間の会期で開催された。今年は、「安全・安心・快適住まい－あすを見つめる私たちの住まい」をテーマに、21世紀に向けたこれからの住まいづくりの提案や家の価値を維持、または高める提案を最新技術の映像や実験模型を使って紹介された。また、今年は、建設省創設50周年にあたり、半世紀にわたる住まいと暮らしの変遷が年表形式で紹介された。ベターリビングも（社）リビングアメニティ協会と協力し、部品展示を中心に、関係部品のカタログコーナーなどへ参加した。

今年も同フェアには高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下のご臨席を賜り、記念式典に引き続きテープカットセレモニーが執り行われ４日間のフェアが開会された。

フェア全体としては、同時開催の「住まい復興の集い」では「創造的復興から21世紀の住まいづくり・まちづくりへ」をテーマに兵庫県、神戸市を中心に組織された「住まい復興の集い実行委員会」の精力的な企画により、様々な催し物がメイン会場のほか、サブ会場、バスツアー及び輸入住宅展示場など盛り沢山の内容で展開された。来場者も４日間で41,674名が同フェアを訪れた。

テーマ　`98スーパーハウジングフェアin兵庫
「安全・安心・快適住まい－あすを見つめる私たちの住まい」
住まい復興の集い
「創造的復興から21世紀の住まいづくり・まちづくりへ」
会　期　平成10年10月１日(木)～10月４日(日)
会　場　神戸市六甲アイランド・神戸ファッションマート　ほかサブ会場
主　催　住宅月間中央イベント実行委員会
住まい復興の集い実行委員会
共　催　住宅月間実行委員会
入場者内訳　10／１（木）　8,863名　（曇／晴れ）
／２（金）　6,546名　（晴れ）
／３（土）　12,844名　（晴れ）
／４（日）　13,421名　（晴れ）

問い合せ先：当財団　情報業務部情報サービス課　03-5211-0572

中央イベント会場正面風景

ＢＬコーナー

高齢者疑似体験風景

HARUMIドーム21『晴海・住まいの構造と設備の展示場』
ベターリビングコーナーの開設

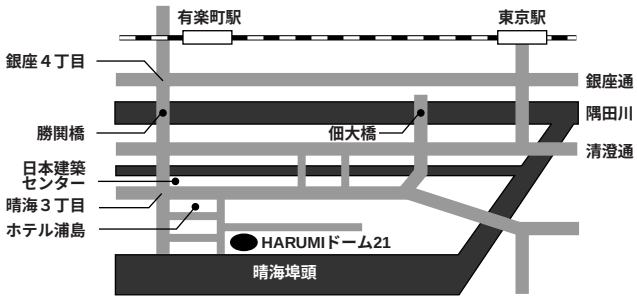
日本建築センターが主催する『晴海・住まいの構造と設備の展示場』が10月30日東京-晴海にオープンしました。

この展示場の特色は、「住宅の耐久性」にスポットを当て、普段見ることが難しい住宅の内部構造と住宅の神経系統ともいえる設備配管・配線等を実際に見ることができ、来場者に住宅を陰で支えるこれらの技術についての認識を深めてもらうことを目的とした展示場です。

ベターリビングでは、(社)リビングアメニティ協会並びに同協会会員7社と共同して、長寿社会への対応、環境保全への取組みなど、社会的要請や関心の高いテーマを取り上げ、人にも環境にもやさしい住宅部品に係わる最新情報について、実物展示を含めそのポイントをわかりやすく伝えるベターリビングコーナーを同展示場内に開設しました。機会がございましたら是非ご覧ください。

オープニング風景

展示期間：平成10年10月～平成13年3月末
展示面積：約55m²
所 在 地 ：東京都中央区晴海2-4-32
交　　通：銀座、有楽町よりバスで10分、晴海3丁目下車徒歩2分
開館時間：午前10時～午後5時
休 館 日 ：毎週水曜日



問い合せ先：当財団　情報業務部情報サービス課　03-5211-0572

展示内容：

部品名等	共同展示企業	展示テーマ 長寿	環境	他
長寿対応型玄関ドア	トステム(株)	●		
断熱型サッシ	トステム(株)		●	
手すりユニット（補助手すり）	日本住宅パネル工業協同組合、大建工業(株)、東陶機器(株)	●		
内装システム（内装ドア、引き戸、クローゼットドア）	段谷産業(株)	●	●	
住戸内階段・ハシゴ段	大建工業(株)	●		
キッチンシステム（キャビネット、調理用ガス機器、レンジ用フードファン）	サンウエーブ工業(株)	●		
食器洗い器	松下電器産業(株)	●	●	
衛生器具（便器、温水洗浄便座、簡易昇降便座）	東陶機器(株)	●		
通気工法壁パネル	大建工業(株)			●
セルフクリーニングタイル 廃ガラス利用タイル	東陶機器(株)		●	
BL部品マーキングシステム	(財)ベターリビング	●	●	

「`98 建築総合展 NAGOYA」に出展

“明るい住まい豊かなくらし”をテーマに「第28回`98建築総合展NAGOYA」が9月17日（木）～9月20日（日）まで名古屋吹上ホール（名古屋市中小企業振興会館）において開催されました。「21世紀への遺産」をテーマとし、建築材料・設備機器・インテリア製品・エクステリア製品・建築情報・建築資料・事務機器を出展対象とし、またこの他に建築に関する相談コーナー、大学・高専学生設計優秀作品展、「あなたの街の景観アイデア」入賞作品展、建築士会会員による作品展等の展示・催し物があり4日間、81,200名の来場がありました。

当財団では、BLマークに連動して機能する新たな識別情報表示であるマーキングシステム及びマークの意図について消費者、住宅関係業務に携わる方に正しく理解してもらうとともにマークの認知を得、BL制度、BL部品の一層の普及を目的に、PRコーナーを設けて「選びやすいね！うれしいね！マーキングシステム」と題して、「長寿対応マーク」「環境共生対応マーク」「標準化対応マーク」のパネル展示を主体にリーフレットの配布などを行いました。

問い合せ先：当財団　情報業務部情報サービス課　03-5211-0572

住宅部品ＰＬセンター

斡旋不成立事案等の推移

裁判内和解　１．　天井板落下事故

■相談概要

築７年のマンションを中古で購入（95.4）したが、入居して７ヶ月で天井板が突然落下し、襖にも損害が生じた。幸い小学生の長男が軽いケガを負っただけであった。しかし、天井板が落下することは通常考えられない。施工業者のミスであると思い、交渉したが業者はミスはない、として交渉が進まない。

■ 斡旋経緯

施工業者からヒアリングを行い、交渉の経緯、取り交わされた文書、初期対応等を確認した他、中古売買契約を媒介した業者からも契約書、引き渡し時検査項目等を入手した。さらに天井板メーカーからカタログや取扱説明書等も入手した。

これらの情報及び施工業者が事故後行った他住戸の天井板の納まりチェック結果から、①施工業者の施工ミスを証明することは困難であること、②証明するための実験施設を造る費用は相当額になることが推定された。

当ＰＬセンターでは、両者に①原状回復、②費用負担は施工業者、③第三者に口外しない、を骨子とする和解文書を作成し調整に入った。調整期間は10ヶ月に亘り一時は相談者も納得したが、最終的には骨子③についてはどうしても納得できないとして、和解は不成立に終わった。

■ 売り主を相手に裁判へ

相談者は、その後施工業者ではなく売り主を相手に裁判を起こした。この裁判が、この度和解により解決した。相談者が要求した「損害賠償」は和解内容に盛り込まれず、ほぼ当ＰＬセンターが提示した「原状回復」を基調とするものとなった。

裁判内和解　２．　屋根材と一緒に落下

■ 相談概要

屋根でクーラー工事中、屋根材（一部接着施工）が剥がれ屋根材ごと落下。ハウスメーカーが施工ミスを認めないとして相談があった。当ＰＬセンターは、ハウスメーカーに対して、説明も不十分であり、他の要因も考えにくいとして再調査を依頼したところ、メーカーから現場対応の行き違いがあり、施工ミスと判断した。交渉のテーブルにも付きたいとの回答があった。（詳細は「住宅関連紛争事例集その３」P.45-46）

■ 斡旋経緯

相談者が、弁護士を就けて現地で交渉したいとの意向を示したので、当ＰＬセンターは斡旋ではなく、相談者からの相談に対して助言を行うとの立場から解決を促進することとなった。

相談者が電気工事店主であることから、損害賠償金の内、休業補償等をめぐる算定がポイントであること、また過去２－３年の売上高等の整理を早急に行うよう助言したが、ハウスメーカーは、最初に示した金額から譲らず、交渉が暗礁に乗り上げた。

■ 裁判で和解

ハウスメーカーの対応が遅れていること、また弁護士の勧めもあって、相談者はハウスメーカーを提訴した。提訴して１ヶ月後、両者の希望額を踏まえた和解金額が裁判官より示され合意した。和解金額は、相談者の希望額に近い額であり、前記の算定が合理的であったことが認められたと言える。

裁判へ　　塗装工事に伴う健康被害

■ 相談概要

建物の瑕疵、欠陥をめぐる紛争を解決するための工事（外壁・内壁塗装、床フローリング取り替え工事等）を行ったところ、健康被害（塗料、ホルムアルデヒド等によると推定される）が生じ、ハウスメーカーと交渉してきた。しかし、双方の主張の隔たりが多く解決できないとして相談があった。

当ＰＬセンターでは、交渉時の関係資料を収集整理し、双方の主張の異同を踏まえて、①建物の紛争解決（建物の建て替え費用の負担）、②健康被害の協議（96年８月：症状固定に基づく協議）の２本立てで和解案を提示し、了解された（96年３月）。

■ 斡旋経緯

本件は和解成立後、上記②をめぐるフレームづくりに力を注いだ。相談者家族の健康診断結果、建物に関する検査、工事の内容、使用材料等の情報を集約、整理して、協議に入るとの手続きについては合意を得ていた。

和解成立後、ハウスメーカーは和解内容に従い建物の紛争解決のための措置を実行したが、相談者の弁護士からは、相談者家族の診断結果はおろか被害の経緯さえも情報として入って来なくなった。一方、ハウスメーカー側の情報提供は協議スタートに支障のない程度には行われ、それらは弁護士にも送付さ

れていた。

健康診断書が整えば、協議のスタートは可能であるとの判断を当ＰＬセンターは何度となく示したが、弁護士は全情報が開示されていないことをもって交渉は途絶した、と一方的に宣言してきた。これは、97年１月である。その後全く交渉はなかった。

ところが、突然98年５月になって、直接ハウスメーカー宛に、弁護士より内容証明郵便が届いたとのこと。文面は、損害賠償請求に応ぜよというものであり、当ＰＬセンターも内容照会のためと、協議のスタートは現状でも可能である旨の文書を、相談者本人にも送付したが、受け入れるところとはならなかった。

■ 裁判へ

本件は、10月28日付けで、名古屋地裁に提訴されるに至った。新聞記事では、相談者は「化学物質過敏症」になったことが提訴事由としているが、当ＰＬセンターでは確認していない。

現状、健康被害をめぐる裁判例は極端に少なく、つい最近横浜地裁で判決が出たが、他の事案は承知していない。裁判例が増えることが、紛争解決を促進させたり、事業者側の事前対策に役立つならば、歓迎しなければならないだろう。しかし、本件提訴は、斡旋に直接関わったこともあるが、提訴に至った経緯が唐突で不分明である。訴状を精査したいと思う。

問い合せ先：当財団　住宅部品ＰＬセンター　03-5211-0567

住宅部品ＰＬセンター　第２回室内環境問題相談会議開催

10月21日（水）当財団会議室において、第２回室内環境問題相談会議が開催されました。この会議は、最近ホルムアルデヒド等の化学物質による健康被害相談が増えていることから、専門的知見を持ったアドバイザーの助言をいただくために設置されたものです。

９月の第１回会議に引き続き、斡旋に係る３事案（健康被害に関するもの）について、前回からの進捗状況報告を事務局が行った後、原因の推定、改善対策案の妥当性、補足調査項目、当事者へのフォロー事項等について種々助言をいただきました。

新規事案１件（健康被害に関するもの）については概況説明にとどめ、次回以降詳細に検討することにいたしました。

次回会議は11月下旬に開催しますが、健康被害相談が増えていること、長期化する傾向にあること、相談内容が難しくなっていることなどから、今後毎月相談会議を開き、助言をいただく予定にしています。

問い合せ先：当財団　住宅部品ＰＬセンター　03-5211-0567

書籍の紹介

■better living　年度特集：「次世代住宅と支える技術」好評発売中

当財団の機関誌「better living季刊号」では、今年度「次世代住宅と支える技術」を年間テーマとして、特集を組んでおりますが、秋号までの３号が発売されておりますので、ご案内申し上げます。

春号「総論／新素材編」
夏号「健康住宅編」
秋号「住宅の性能編」
各1部　2,000円（消費税込み・送料別）
３部同時申し込みの方には送料をサービスいたします。
お申し込みは当財団調査部まで
問い合せ：当財団調査部　03-5211-0567

センチュリーハウジングシステム住宅認定のご報告

当財団では、平成10年９月30日付けで下記住宅をセンチュリーハウジングシステム住宅として認定いたしました。

去る10月12日には当財団において認定書の授与式が執り行われました。

区　分：　個別認定型　個別供給型　戸建住宅
申請者：　クボタハウス株式会社
申請住宅：　ヒューマン・モナージュ西宮名塩分譲住宅
建設地：　兵庫県西宮市塩瀬町名塩南台３－４－２
構　造：　鉄骨系軸組ブレース構造

問い合せ先：当財団　関連事業部住宅企画課　03-5211-0566

認定書授与式

筑波建築試験センター活動報告

（社）プレハブ建築協会「PC部材品質認定制度」

PC（プレキャストコンクリート）部材製造工場の品質審査について

筑波建築試験センターでは（社）プレハブ建築協会から委託を受け、同協会の「PC部材品質認定制度」に基づき、PC部材製造工場（以下PC工場）におけるPC部材の品質調査を実施しています。

本制度は、PC工場が製造する建築用PC部材について、一定の基準による統一的な方法で評価することにより、PC部材の適正な品質の確保を図ることを目的に、同協会の自主認定制度として制定されています。

認定は（社）プレハブ建築協会が行いますが、工場調査（品質管理、材料、製造工程、検査、設備及び製品に関する状況）については、公平に評価するための第三者機関として、当財団が委託を受け、当財団内に設置された「PC部材品質審査委員会」が、対象工場の立ち入り審査を実施し、その結果の報告を行っています。

このPC工場調査は平成元年からはじまり第一回の認定は平成２年３月に行われました。本年度は第４回目の認定ならびに認定更新時期（３年毎）にあたるので、更新工場及び新規申請工場に対して品質審査を行っています。

本年度のPC工場調査は、８月中旬から11月下旬にかけて全国49工場の工場審査が予定され、現在その過半を終了しています。

工場調査での審査は、（社）プレハブ建築協会が定めた工場調査基準（PC部材製造工場調査表）により、「品質管理部門」「製造設備部門」「資材管理部門」「部材製造部門」の４つの部門について行われ、各部門の審査概要は以下のとおりです。

■品質管理部門

組織の体制、組織の運用、社内規格、生産管理の体制、クレーム処理システム、社員教育の状況を審査

■製造設備部門

原材料貯蔵設備、コンクリートの製造・運搬，成型設備、加熱養生設備、脱型設備、各検査試験設備及びバッチャープラント・ミキサー、圧縮試験機の性能試験について審査

■資材管理部門

セメント、砂利、砂、砕石、砕砂、人工軽量骨材、練混ぜ水、混和材、鉄筋、溶接金網、鉄骨、接合用金物、先付け部品に対して、その品質、受入及び保管状況を審査

■部材製造部門

コンクリート、加熱養生、ベツト、型枠、はく離材、配筋、接合用金物、先付け部品、製品、貯蔵、補修、廃板、出荷について審査

人事異動

建設省住宅局関係（敬称略）

日付	氏名	新官職	旧官職
10.11.1	奥　勝幸	住宅整備課長補佐	住宅・都市整備公団 住宅都市総合研究所 調査研究課長代理

住宅・都市整備公団（敬称略）

日付	氏名	新役職	旧役職
10.11.1	今泉　浩紀	理事（総務・人事・企画調整等担当）	理事（総務・人事・企画調整等担当） （兼住宅市街地・再開発・改善担当）
〃	島崎　勉	理事（住宅市街地・再開発担当）	工学院大学工学部教授

財団法人ベターリビング

日付	氏名	新役職	旧役職
10.10.20	日野　晋	研究企画部長	研究企画部長　兼研究企画部研究課長
〃	毛利　哲男	研究企画部次長・兼研究企画部研究課長	建設省住宅局建築指導課長補佐（西宮市技監）
〃	益戸　志郎	調査部長・兼調査部調査課長	調査部長
〃	吉田　茂雄	住宅部品ＰＬセンター管理室長　兼調査部参事役 兼管理室事故相談課長	住宅部品ＰＬセンター室長　兼調査部参事役 兼調査部部品事故相談課長
〃	山内　善之	調査部調査課長代理	調査部部品事故相談課長代理
〃	小川　左枝	住宅部品ＰＬセンター管理室事故相談課長代理 （併）調査部調査課長代理	調査部部品事故相談課長代理

BL部品の仕様等の変更一覧

変更事項凡例［A：機種バリエーションの追加／B：機種の削除／C：名称・型式等の変更／D：価格の変更・その他］

品目（分類）名	企業名	名称・型式	認定番号	承認日	A	B	C	D
玄関ドア	不二サッシ(株)	ふれあい　片開きドア　他	DD2395-4	H10.6.9	○			
	YKKｱｰｷﾃｸﾁｭﾗﾙﾌﾟﾛﾀﾞｸﾂ(株)	プレーンBL-PAI（0819，0820）　他	SD1395-B030	H10.6.8	○			
		プレーンPBL 2UDBL-PAP　他	SD0196-B000	H10.6.8	○			
	日本ドアーﾁｪｯｸ製造(株)	Ｐ１７３ＢＬ	DC0295	H10.6.8	○			
	三協アルミニウム工業(株)	玄関ドアDXII複層ガラスタイプ DXII-B21他	DD1795-0030	H10.6.9	○	○		
	(株)キムラ	ＳＰドア　Ｔ７６２Ｇ　他	DD1295-00S0	H10.6.9	○	○		
	三協アルミニウム工業(株)	断熱ドアサンドールN　ＳＲ－１０　他	DD0595-00S0	H10.6.9	○			
	輸送機工業(株)	輸送機の玄関ドア　Ｈ１３５－ＡＴ　他	SD1295-K000	H10.8.31	○		○	
		ＴＪＨ－Ｆ　他	SD1295-B030	H10.8.31	○			
		ＴＪＨＷ－Ｆ　他	SD1295-BC30	H10.8.31	○			
		ＭＴＪＨ－Ｆ　他	SD1295-B03T	H10.8.31	○			
		ＭＴＪＨＷ－Ｆ　他	SD1296-BC3T	H10.8.31	○			
		ＴＪ－Ｇ　他	SD1295-B040	H10.8.31	○			
		ＴＪＷ－Ｆ	SD1295-BC30	H10.8.31	○			
		ＭＴＪ－Ｇ　他	SD1295-B04T	H10.8.31	○			
		ＭＴＪＷ－Ｆ	SD1295-BC4T	H10.8.31	○			
		Ｈ５０３　他	SD1295-R030	H10.8.31	○			
		Ｈ５５３他	SD1295-RC30	H10.8.31	○			
		ＭＨ５０３　他	SD1295-R03T	H10.8.31	○			
		ＭＨ５５３　他	SD1295-RC3T	H10.8.31	○			
ドア・クローザ	美和ロック(株)	ＫＭ３１３Ｐ　他	DC0395	H10.9.3	○			
RC造住宅用サッシ(ｱﾙﾐｻｯｼB型)	不二サッシ(株)	ＦＲＢ－Ⅱ	BAB1296	H10.10.16	○			
RC造住宅用サッシ(ｱﾙﾐｻｯｼC型)	不二サッシ(株)	ＦＲＢ－ⅡＡＴ	BAC1396	H10.10.16	○			
RC造住宅用サッシ(断熱型ｻｯｼ)	三協アルミニウム工業(株)	サンミッテ７０Ｓ断熱二重サッシB	BDS0394-2	H10.9.22	○			

変更事項凡例［A：機種バリエーションの追加／B：機種の削除／C：名称・型式等の変更／D：価格の変更・その他］

品目（分類）名	企業名	名称・型式	認定番号	承認日	A	B	C	D
手すりユニット(補助手すり)	(株)アトラス	ﾘﾝﾀﾞｰﾌﾞﾛｯｸﾀｰ手すりﾀｲﾌﾟNo.106(S)S-60L	TSH1097	H10.9.16	○			
内装システム(内装ドア)	松下電工(株)	ナショナルクローゼット扉	NSN5496	H10.10.5	○			
物置ユニット	(株)ダイケン	ダイケン物置「ゆたか」 DM-U422 他	MU0294	H10.9.24	○	○		
給湯器ユニット（ガス給湯器）	大阪ガス(株)	３４－８７０，３１－７４１	KT0195-A,B	H10.8.20	○			
	(株)パロマ	ガス瞬間給湯器　ＦＨ－１６ＡＤＭＬ	KT0596-B	H10.8.20	○			
	(株)ノーリツ	ノーリツ強制追焚き機能付ガス給湯器 GT-2411AWXBL　他	KT0396-B 他	H10.8.28	○			
	東陶機器(株)	ＲＧＥ１６ＣＶ１－Ｓ	KT2495-B	H10.8.28	○			
	リンナイ(株)	リンナイガス瞬間給湯器 RUX-1616FFU 他	KT2095-A 他	H10.8.28	○			
	高木産業(株)	ＴＰ－ＳＱ１６０ＡＲ－１　他	KT0296-B 他	H10.8.28	○			
	(株)ガスター	ＯＳＲ－２０００ＳＡ	KT0196-B	H10.8.28	○			
	(株)ＩＮＡＸ	ＯＳＲ－２０００ＳＡ	KT0196-B-a	H10.8.28	○			
給湯器ユニット（電気温水器）	松下電器産業(株)	＜A型＞ﾅｼｮﾅﾙ電気温水器 DH-29W1XB	EH1296-A	H10.7.17	○			
	積水化学工業(株)	＜B型＞ＡＳ－４６Ｍ８７Ｋ	EH0796-B	H10.8.10	○			
給湯器ユニット（石油給湯機）	東陶機器(株)	石油小形給湯機・ＲＰＨ３１３ＳＮＢ	KB0894-A	H10.9.10	○			
	松下電器産業(株)	ＧＪ－Ｓ２４Ｔ２Ｂ	KT2695-B	H10.9.10	○			
暖・冷房システム	(株)ノーリツ	＜ガス＞ノーリツユテリアシステム	HS-0495-D 他	H10.8.20	○			
	三菱電機(株)	ＶＬ－１０００ＨＦ	HS2694-D	H10.8.20	○		○	○
	北海道電機(株)	＜電気＞電気蓄熱暖房機	HS2595-D	H10.9.18	○			
	ヤマハリビングテック(株)	＜ガス＞セントラル暖房システム	HS0795-DKB	H10.9.18			○	
給水ポンプシステム	(株)川本製作所	リバースイートＳＫＦ２	PU0294	H10.8.27	○			
	(株)テラルキョクトウ	可変速ポンプ自動給水装置／ＶＦ	PU0494	H10.9.16	○			

10月の動き

10月

［開発部・建築担当］
10月7日　窓系部品企画委員会
　23日　窓系部品企画委員会
　28日　窓系部品評価委員会
　〃　出入口系部品企画委員会

［開発部・設備担当］
10月8日　浴室部品評価委員会
　〃　既存賃貸住宅の内部改修方策に関する調査研究委員会
　9日　集合住宅の生ごみ処理方式に関する研究委員会
　16日　輸送設備部品評価委員会
　20日　浴室部品企画委員会
　22日　既存賃貸住宅の内部改修方策に関する調査研究委員会
　〃　風力換気の積極的利用による集合住宅の居住性の向上に関する研究委員会
　26日　給湯第１部品評価委員会（電気温水器）
　27日　給湯第１部品評価委員会（ガス給湯器）
　30日　衛生器具部品企画委員会（脱臭）

［試験センター］
１．ＢＬ試験
・アルミサッシ
・暖・冷房システム
・手すりユニット
・玄関ドア
・自転車置場
・カーポート
２．主な一般依頼試験
・超軽量コンクリートクリープ試験
・集成材柱・梁接合部強度試験
・界壁遮音試験
・耐火構造試験
・防火戸試験
・防火材料試験
３．委員会等
・達続繊維シート工法検討委員会WG（2日）
・住宅性能評価技術検討委員会実施ツール検討WG（5日、16日）
・耐久・保全運営委員会（7日）
・耐久計画委員会（8日）
・アルミニウム建築構造技術委員会薄板分科会実験WG（9日）
・中小企業活路開拓調査実用化事業委員会（9日）
・管路系騒音小委員会（9日）
・学会賞選考委員会WG（13日）
・耐火設計法研究委員会（16日）
・汚染物質発生量測定調査部会WG（16日、29日）
・総プロ応答制御分科会（19日）
・住宅性能評価技術検討委員会耐久性能分科会WG（21日）
・防災性能評定委員会〈23日〉
・木質材料防耐火委員会（28日）
・室内環境実態調査部会（29日）
・ストック長命化技術の開発検討委員会（30日）

better living
NEWS vol.068

ホームページ http://www.iijnet.or.jp/CBL/

定　価　200円
発行年月日　平成10年 11月20日
発 行 人　十亀　彬
発 行 所　財団法人ベターリビング
〒102-0084　東京都千代田区二番町4番地5
相互二番町ビル3階
TEL　03-5211-0567（事務局ダイヤルイン）
FAX　03-5211-0593
筑波建築試験センター　TEL 0298-64-1745